

残堀川調節池（残堀川）

施設概要

残堀川調節池は、残堀川の治水安全度を早期に向上させるために、残堀川中流部において平成25年度から平成29年度にかけて整備した調節池です。

立川基地跡地昭島地区区画整理事業との調整を経て、これまで国営昭和記念公園内にあった暫定施設に代わる施設として整備した調節池であり、施工近隣が環境保全用地となっていたことから、希少種であるオオタカの営巣時期を避けて施工を行った経緯があります。

調節池は掘込式であり、洪水時は上流側の取水堰から流入し、河道の水位が低下した際に下流側の排水樋管から河道へ排水します。川側の流入部は他よりも深い構造となっており、これにより、清掃の効率化や上部利用者の安全性の向上を図っています。



調節池位置図



取水施設



施設諸元

位置	立川市泉町、昭島市もくせいの杜二丁目
完成年度	平成29年度
施設形式	掘込式
敷地面積(m ²)	50,000m ²
貯留量(m ³)	60,000m ³
越流堤延長(m)	36.0m

位置図



調節池位置の QR コード

